

指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町かえで児童クラブ	年度	平成26年度
指定管理者	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	担当課	福祉課 保育担当
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	期別	第3期
施設の目的	両親等の就労等により保育が必要な児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。		
業務の内容	(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 (2) 入所の承認及び承認の取消しに関すること。 (3) 保育料の徴収に関すること。 (4) 施設及び設備の維持管理に関すること。		

総合的な評価	評価項目数
<p>【総合評価】</p> <p>2学童化による少人数保育の実施、職員の適正配置など、サービスの向上が図られている。震災対策等学校や関係機関との連携により、対応について確認できていることで、保護者に安心感を与えることができている。 定期的な父母会の開催により、要望事項の確認など満足度が確保されている。</p> <p>【評価事項】</p> <p>①外部有識者を交えての入所審査委員会を行い、入所基準の適正化を図っている。 ②様々な研修に参加するなど指導員の質の向上へ努力している。 ③災害時の対応について、関係機関との連携の確認ができている。また、避難訓練の実施も行っている。 ④利用者からの要望を把握するため父母会や懇談会を開催し、積極的に取り組んでいる。 ⑤職員のシフト調整を行い、人件費節減に努めている。 ⑥町のエコオフィス制度に準じた環境配慮に取り組んでいる。</p> <p>【改善事項】</p> <p>様々な研修に参加するなど指導員の質の向上へ努力しているところであるが、さらなる質の向上を期待するものである。また、利用者からの要望を的確に把握した運営を期待するものである。</p>	<p>A 優良: B 適正:14 C 改善:</p>

<p>1. 施設の管理運営・事業</p> <p>2学童運営体制で活動を工夫し保育を行い、開所予定日すべて滞りなく学童保育を運営することができた。入所は宮代町入所基準に準じて、保護者が就労して保育が必要だと審査した小学1～6年生を認め、受け入れている。また、節電等にも配慮した運営に心がけており、事業計画書で設定された内容を達成できている。</p>	<p>評 価</p> <p>B 適正</p>
<p>2. 利用者の公平確保</p> <p>入所申請については、宮代町の学童保育入所時の申請基準に準じて、申請者全員に就労証明書等を添付した申込書を提出してもらい、外部有識者を交えた入所審査会を行っている。継続入所児童についても、就労証明書等の確認を行った。保育料免除の手続きは父母会にて告知し、申請漏れのないよう指導が行われている。</p>	<p>評 価</p> <p>B 適正</p>
<p>3. 職員の配置、研修等</p> <p>常勤指導員1名が育休のため、臨時の常勤指導員の補充を行い常勤職員3名体制を保ち、埼玉県放課後児童クラブ運営基準に則り人員を適切に配置することができている。また、パート職員1名の退職希望が出たので募集を行って補充した。 職員研修に関しては、障害児対応の内容など積極的に研修に参加している。 健康診断については、常勤指導員と1年以上継続しているパート指導員に対して人間ドック受診の補助を行っている。 利用者への対応については、日頃より保護者とコミュニケーションをとるようにし、子どもの様子などを保護者と共有するように努め、利用者からのクレームなく運営できている。</p>	<p>B 適正</p>
<p>4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検</p> <p>学童の清掃等については、指導員が毎日行っているが側溝やエアコン等については、宮代町シルバー人材センターに委託している。毎日業務開始時に指導員による始動点検を行い、適正に管理されている。</p>	<p>評 価</p> <p>B 適正</p>

地震発生時に家具、ロッカー等が転倒しないよう家具の固定等を行っている。	
5. 施設の修繕	評価
第1学童クラブの出入口には子ども達の衝突防止と冷暖房の効率化のためにアコーディオンカーテンを設置し、第2学童クラブに布団を入れる収納棚がなかったため、設置を行っている。修繕箇所が発生した場合には町へ報告するとともに速やかに対策が行われており、安全面を配慮されている。	B 適正
6. 備品管理	
購入した備品については、備品台帳により管理されている。	B 適正
7. 安全・危機管理	評価
年度当初に災害時の緊急対応について、職員、父母会、学校との間で確認を行っている。大災害時の連絡方法として、「災害用伝言ダイヤル」等を利用することとしている。避難訓練は、宮代町消防署に依頼し児童も含めた訓練が実施された。管理責任者と防火責任者が配置されている。	B 適正
8. 個人情報の管理	評価
個人情報については鍵のかかるロッカーに保存し、常勤職員・事務職員と法人役員のみ特定の者しか閲覧できない対策がとられている。個人情報等を破棄する際には、情報漏洩がないようにシュレッダー処理をし、父母会名簿などは取り扱いに十分注意するよう父母に周知を図るなど、個人情報の取り扱いを徹底している。	B 適正
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価
毎月の父母会、年1回の学年別懇談会を開催し、保育内容の報告を行うとともに、学童保育への要望を聞く機会を設けている。また、学童便りを作成し、父母だけでなく、小中学校など関係する地域の機関にも配布して理解を求めている。 学童まつりでは、地域の方々に学童を知っていただく良い機会になっている。	B 適正
10. 自主事業の実施	評価
該当事業なし	B 適正
11. 経費節減	評価
児童に節電節水を呼びかけ、指導員と共に資源を大切にするように取り組んでいる。定期的な清掃は指導員で行い、清掃費の削減に努めている。 修繕や備品購入の際には必ず事前に見積りをとり、父母会で適切かどうかについて協議を行っている。	B 適正
12. 環境への配慮	評価
エアコンの設定温度、ベランダのよしずをかけるなど工夫し節電に心がけている。	B 適正
13. 利用者への情報提供	評価
学童まつりは広報に掲載し町民に情報提供を行っており、月2回の学童だよりを関係機関に配布している。 入所者募集については、須賀入学説明会時に募集内容を説明し、関係書類を配布している。	B 適正
14. 会計管理	評価
補助金・保育料収入は、当法人会計とおやつ行事費会計に分け適正に管理している。年数回、NPO理事、父母会役員、常勤指導員、事務職員、父母会会計で予算の執行状況について確認し、当初予算との比較からその後の経費支出についての方向性を確認して進めている。 人件費についても指導員シフトの調整を行い、人件費を抑えるようにしている。そのため、冬季のインフルエンザの臨時休校への対応を含めて当初予算で執行することができている。 今年度は消費税増税による経費増、土曜日保育の人件費、社会保険等の金額の増加、要保護家庭児童数の増加、求人広告費等により予算の収支が一時マイナスとなることがあったため、来年度は委託金の入金時期を早める等の対策が必要である。	B 適正